

神都宮崎寫真畫報

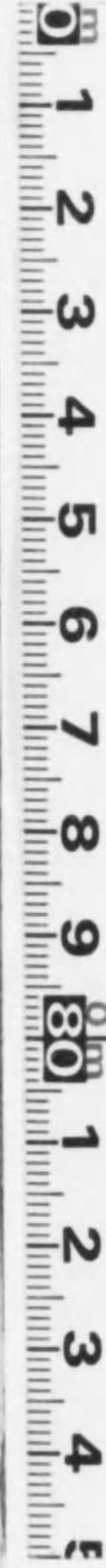
スマイ 439

特251

374

366

始



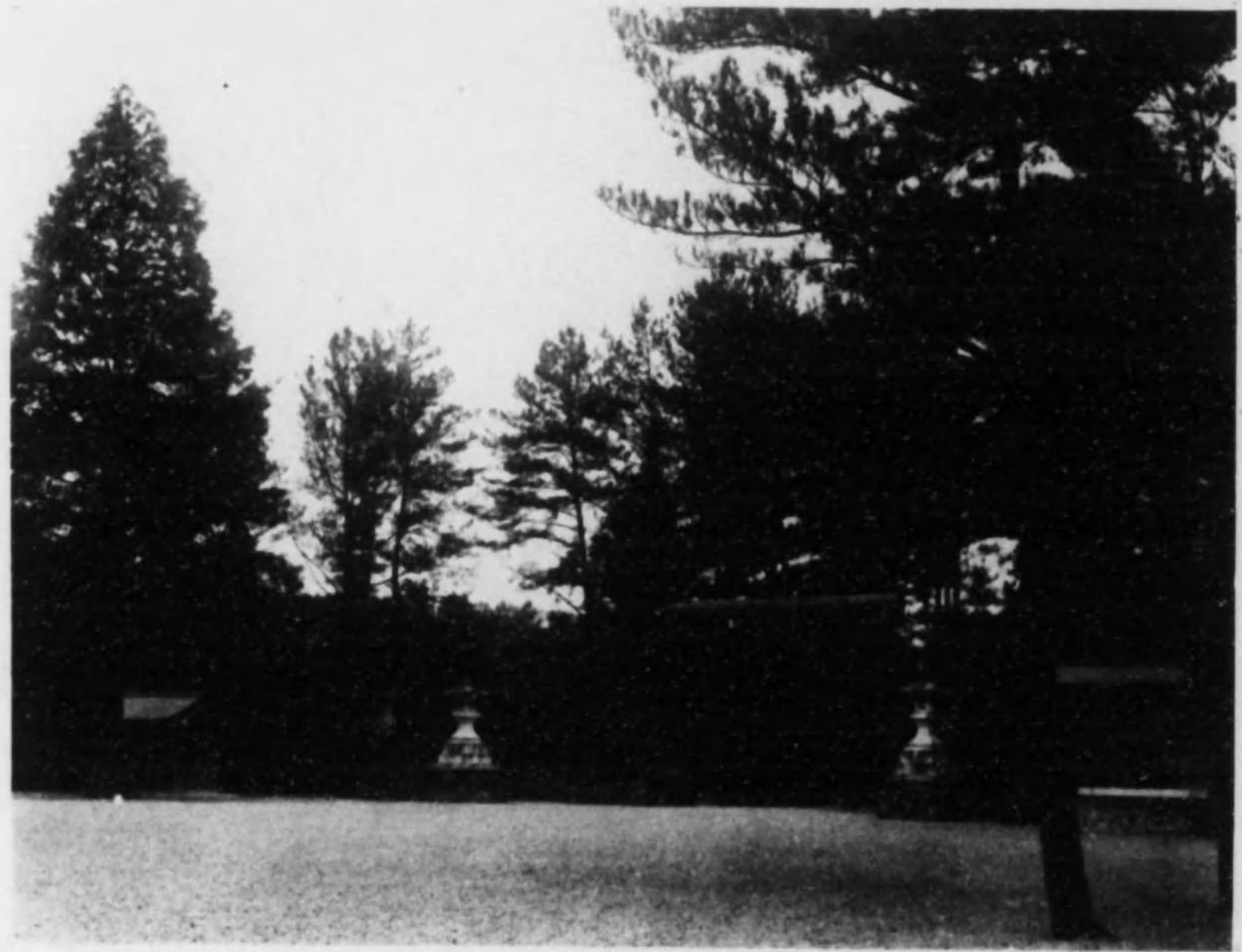
特251
439



宮 伸 崎 宮 社大弊官

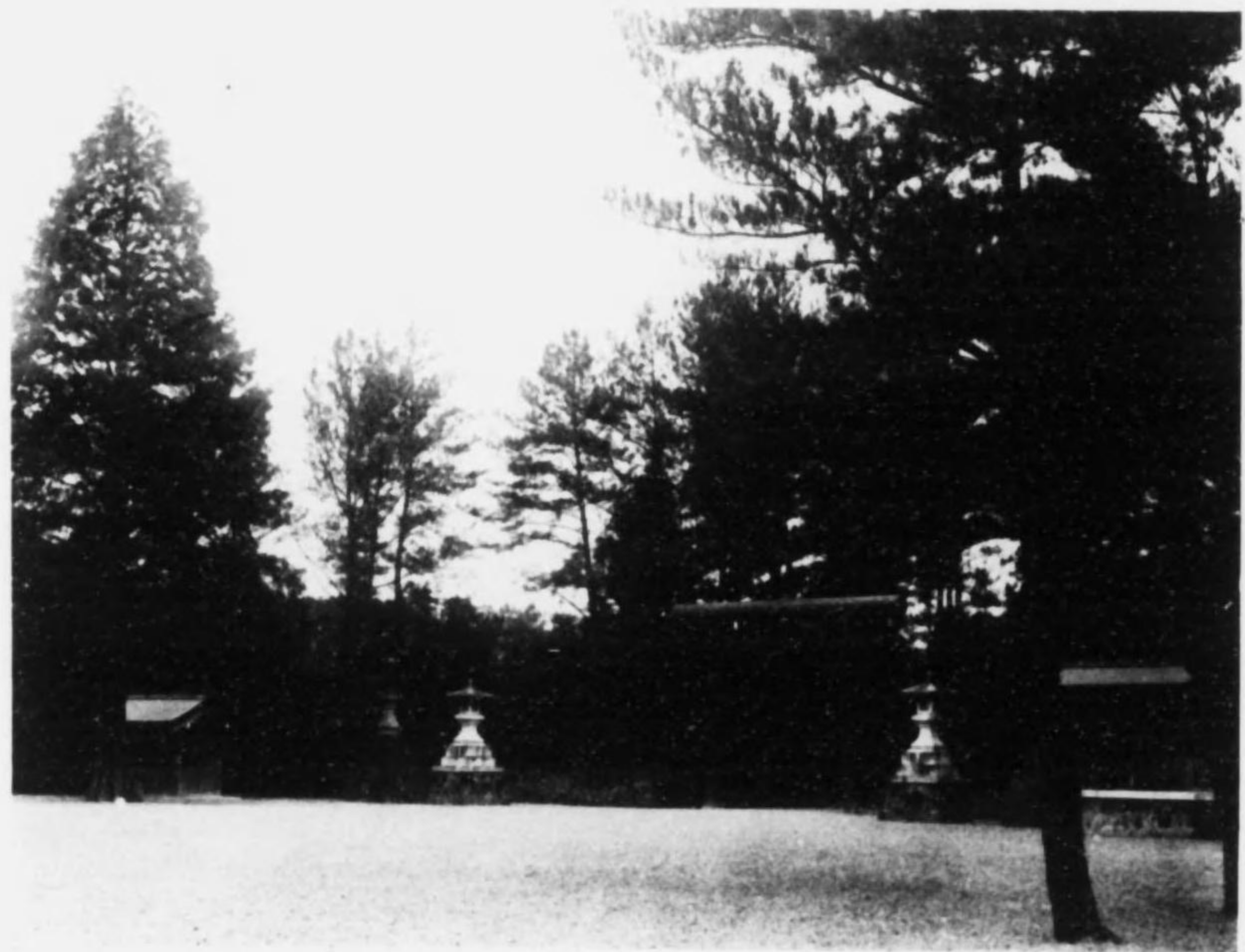


露光量違いの為重複撮影



花 外 宮 神 崎 宮 社大野宮

露光量違いの為重複撮影

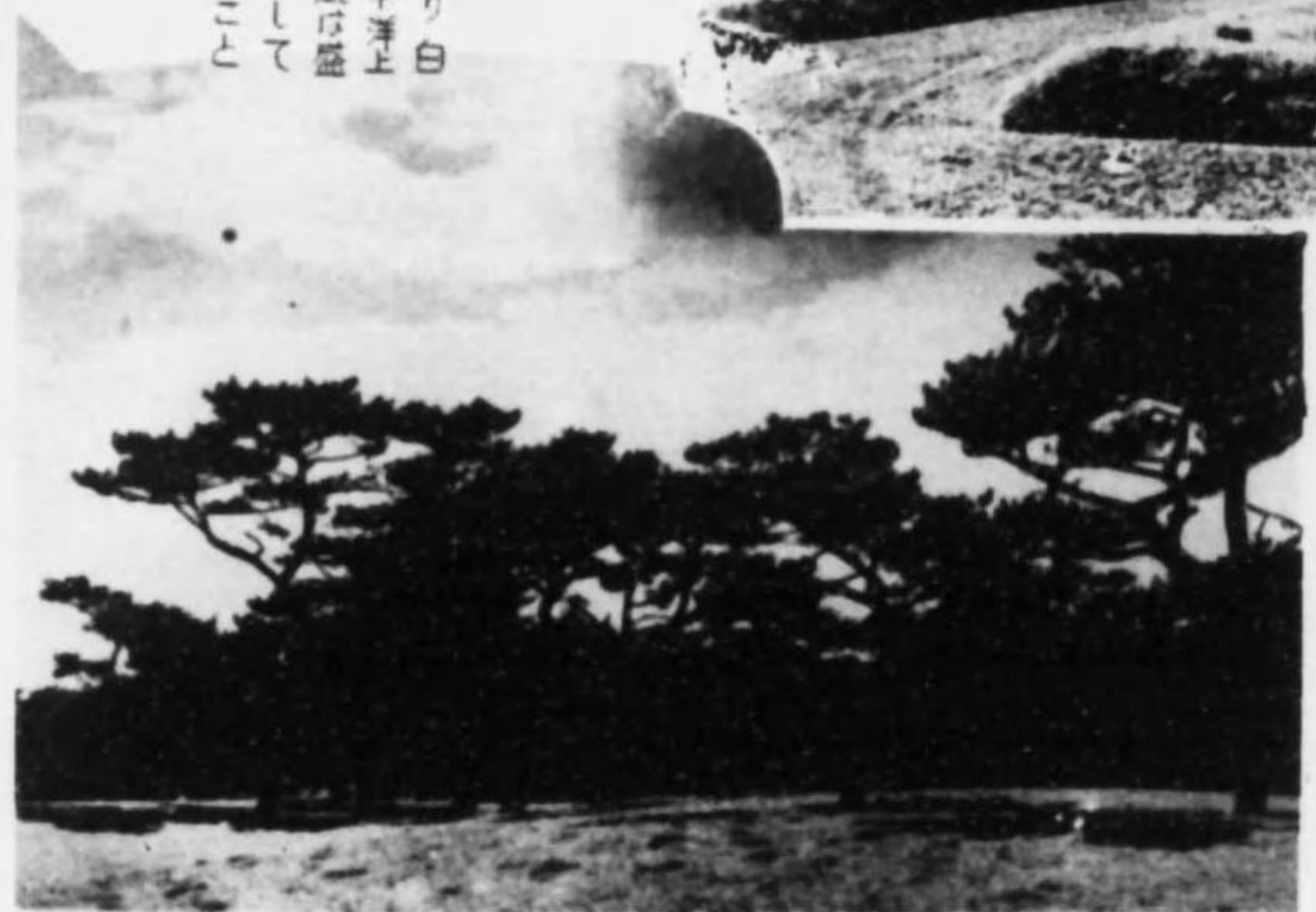


苑 外 宮 神 崎 宮 社 大 舞 宮



一葉ノ浜

宮崎市東方にあり白砂高松にして太平洋上より吹きくる潮風は盛夏知らずの如くにして一般に浴場ゆゑに名し。



皇宮屋

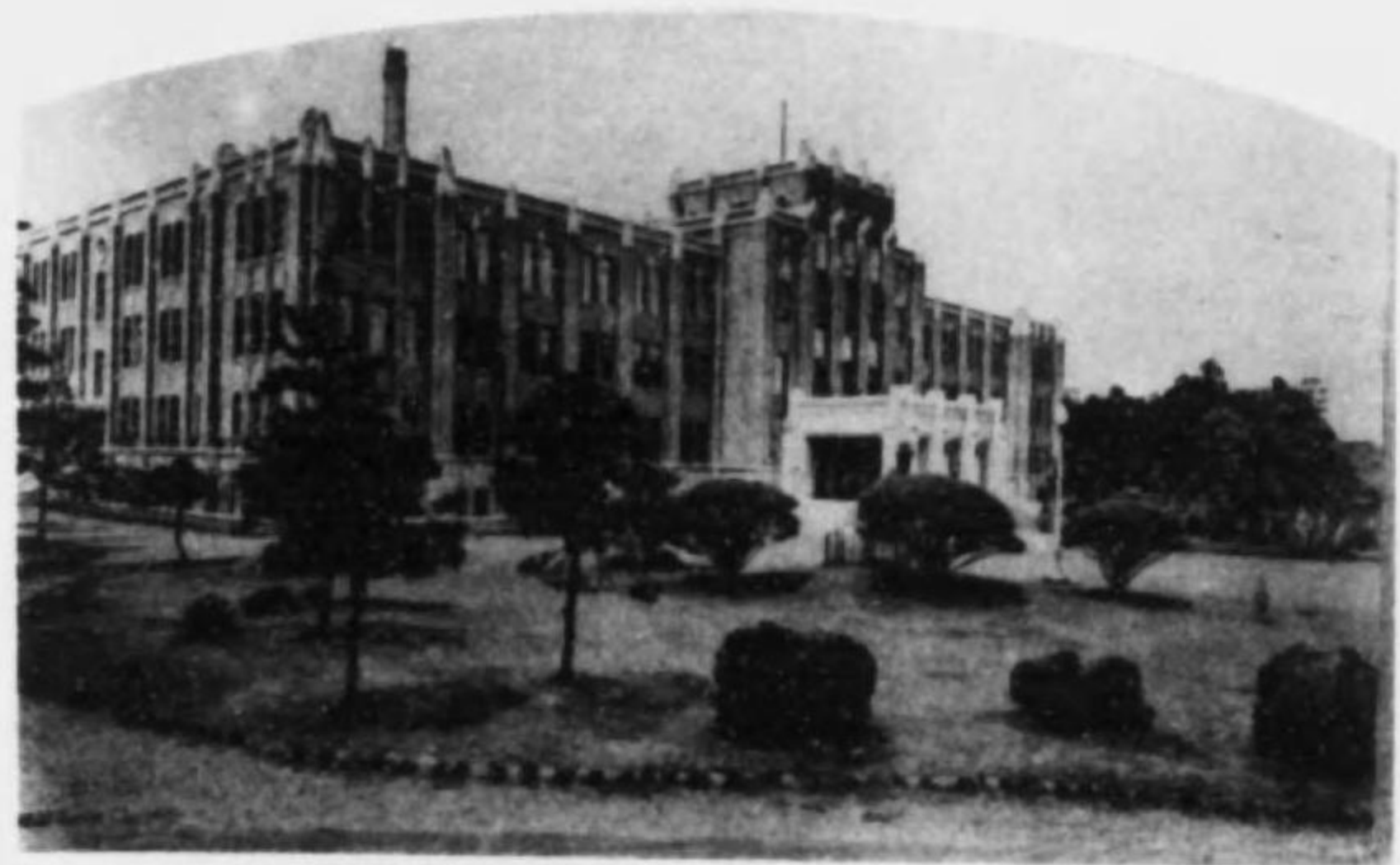
古明神宮の西方に
 して神武天皇御宇に
 神武天皇御宇に
 宮田五郎御宇に
 の御宇に
 皇宮の御宇に
 皇宮の御宇に
 皇宮の御宇に
 皇宮の御宇に

鹿嶋市より鴨戸神宮参拜道路と風光絶佳なる太平洋沿岸の風景

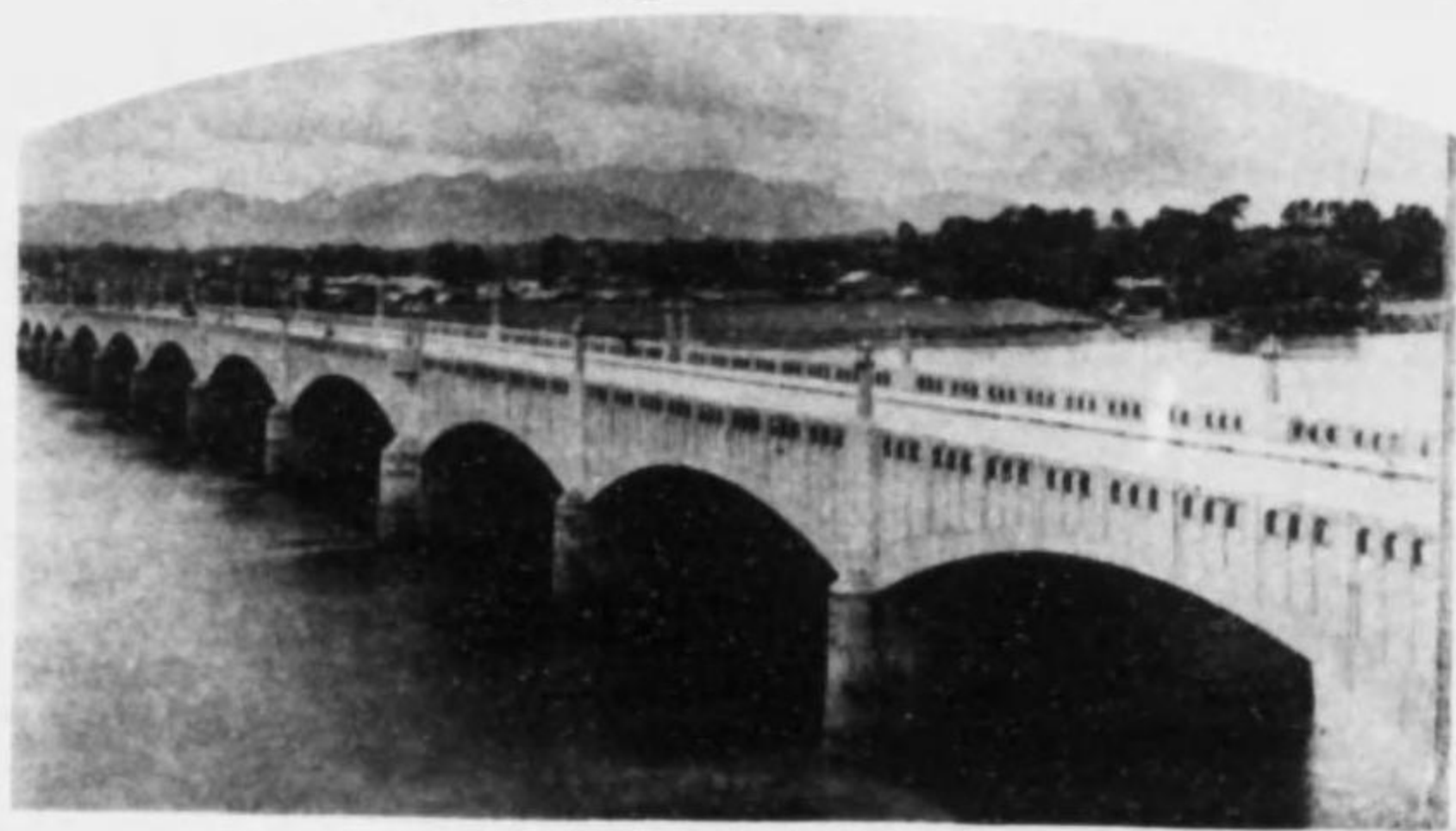


鹿嶋市バス株式會社經營の市及名所巡遊のバスに於て太平洋沿岸の風景を絶佳の光風と

よる大衆の便に於て観光の一助として毎日運行を神宮鴨戸より大宮大まで



宮崎市中央に
一大偉觀を呈
し近代運物の
玉座なる宮崎
縣廳



宮崎市中を貫流せる大
湊川に架設ある橋樑は
九州第一の橋ある如く
モダン橋にして美觀は
晝夜共に外來の客の目
をひく



岸海戸鶴 軟疊十るなりよ岩成水
 立歌の岩奇す驚を目人とか工人か然目大に岸沿難向日
 客旅に持は明説のルーグ内案のスパ寛遊崎宮と景絶の
 .りなのもる得を尺瀧



宮崎紅鶴戸神社

宮崎市より青島經由海
岸にて南方十里余に
して又々宮崎神宮と云
様年中祭拜の絶ゆる
事なし。

青島

國田家即なる祭神稲荷
持にヒロシ樹葉丸し島
に青島神社あり宮崎
市より南方四里余船便
賃の苦交通に便はれば
回伴一航遊見客其数知
れず縣下一の觀光地な
り。

露光量違いの為重複撮影

言に持ける

鳩入れ

餅は

幾世経るとも

盡ぐせぬ

由來と美味は天下一品

▲弊店の誇りマ

◎昭和九年九月十日、大阪三旗に於て神武天皇御東遷
二千六百年祭記念御聖蹟展覧会の特待用として用じら
れ絶大の好評を博せり。
◎昭和十年大演習の杖元御陛下宮崎縣に御西下あり
せられ御威大本營に於ける御用として鳩入れ餅を
製御用命の光栄に浴す。



建設
鳩入れ
製元
運元
中山松月庵菓子舗
（電話一七〇番）

——由來記——官學大社宮崎神社古御鎮座の元は古史に所開宮廟の宮なる聖宮の
靈地にして神武天皇御東遷の御船と見し給ひし遺跡なり。天皇御年四十五才の御時東
遷の事と思ひたまはれ皇軍を帥じて十田田の田宮崎の宮と出立な給ひ北行して美々津（@東
海（津波の津波の地）に到り御定と御舟に御出立し給はんと御船路を求せられ御取上り
させられ御取上の舟田船と見し給はるる御取上り御取上りと見し給はるる御取上りと見し
しに運舟に御取上りゆまりて八幡宮の御取上りと見し給はるる御取上りと見し給はるる御
取上り、餅と小田とを掲き置きて献上せりこれ御取上り鳩入れにして今に到るも傳來して
ゆるることなし。

露光量違いの為重複撮影

言に持ける

陥入れ

餅は

幾世経るとも

盡う世故

由来と美味は天下一品

▲餅店の誇りマ

昭和九年九月十日、夜三時、松山に於いて申元、里節奉渡、
 三十五周年記念と朝の生餅を返志の持帰用として用ひら
 れた大の好評を博せり。
 昭和十年大演習の杖元、元帥陛下官邸軒に御下あり
 せられ御高大本營にたける御用として携入餅に
 貴御用命の光栄に有す。



建國餅入 和洋元
 遠元組
 市中松月庵菓子
 市時市一丁目
 (電話七〇一)

由来記一 明治廿二年、松山に於いて申元、里節奉渡の
 際、山中松月庵菓子、三十五周年記念と朝の生餅を返志の持
 帰用として用ひられた大の好評を博せり。昭和十年、大演習
 の杖元、元帥陛下官邸軒に御下ありせられ御高大本營にた
 ける御用として携入餅に貴御用命の光栄に有す。昭和九年、
 九月十日、夜三時、松山に於いて申元、里節奉渡の
 際、山中松月庵菓子、三十五周年記念と朝の生餅を返志の持
 帰用として用ひられた大の好評を博せり。昭和十年、大演習
 の杖元、元帥陛下官邸軒に御下ありせられ御高大本營にた
 ける御用として携入餅に貴御用命の光栄に有す。

處方調劑品
優良藥品
衛生材料
外科藥品
化學藥品
化粧品類
眼科藥品
泌尿藥品
農林藥品

卸 小 売



宮崎市の中心 桶通り五十字路

高木本堂

薬剤師 陣内 勝利

本店 大牟田市 陣内三省堂

電話 二〇三番
振替 本五三四〇番

374
366

終

昭和十二年八月五日臨時發行
編輯人 田中榮治
鹿兒島市西千石町二七番地
發行所 寫眞タイムス社
印刷人 城野樞夫
熊本手取本町四八番地
印刷所 城野寫眞製版所